

宣教支援センターだより
2021年9月号

8月14～15日の大雨で、南小倉・シオン山・枝光・飯塚・臼杵の各教会で雨漏りの被害がありました。諸教会の会堂・牧師館の老朽化問題にどう立ち向かうのか。協力伝道の真価が問われています。

■教会を新たにするために

その6 地方連合・連盟との関係

北九州地方連合が2015年度から始めた全国支援・地域協働プロジェクトは、残すところ1年半となりました。

戸畑教会、上穂波教会と、地方連合加入教会が相次いで消滅する事態を受けて、各個教会の自主・独立を尊重しながらも、教会の垣根を越えて助け合うことのできる地方連合の絆を取り戻す。これが他の地方連合に先駆けて、全国支援・地域協働プロジェクトを始めた目的でした。

光教会のみな様が、教会のこれからを自分たちで選び取ることができるように、シオン山教会は伴走しています。

斎藤信一郎牧師を迎えた北九州教会は、互いに祈り合う関係性を大事にする目的で、お隣の若松教会との結びつきを強めています。

南小倉教会と東八幡教会は、ビジョンに共鳴する教会外の方がたつながらシステムをそれぞれに構築して、経済的な支えを得ることに成功しています。

連盟が目指すパラダイムシフトは、北九州地方連合の諸教会において、すでに現実のものになっているのです。

■地方連合平和礼拝を行いました

8月9日（月）東八幡教会にて、地方連合の平和礼拝を行いました。会場28名、オンライン60名の参加でした。

山田雄次先生より「神への礼拝として平和を生きる」という題で、出会わされて50年になる久山療育園への思い、信仰者が弱くされた者に仕えるということについて、胸に響くお話をいただくことができました。

来年2月11日の「信教の自由を憶える日集会」には日本キリスト教協議会の総幹事の金性済（キムソンジュ）先生をお迎えする予定です。

■今月の予定

- 5日（日）シオン山教会礼拝出席
- 7日（火）センター調整会議
- 12日（日）若松教会礼拝出席
- 13日（月）センター運営委員会
- 14日（火）主事夏期休暇（17日迄）
- 18日（土）シオン山・執事会陪席
- 19日（日）小倉教会礼拝出席
- 26日（日）光教会礼拝宣教

■編集後記

高須教会の教会学校小学科では、毎年8月に水巻町立図書館前の「十字架の塔」を訪ねる平和学習を続けています。

十字架の塔は戦時中に炭鉱の強制労働をさせられ、命を落とした53名のオランダ人捕虜の御霊を慰めるため、日蘭双方の有志によって建立された慰霊碑です。

国を越えた戦争の犠牲者を思う時、キリストの十字架による赦しと和解を祈り求めずにはいられません。（齊藤弘司）